

新年の ごあいさつ

登別市議会議長

おおむらたかとし
大村喬俊



新年あけましておめでとうございます。

市民の皆さまには、お健やかに初春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

旧年中は、議会活動におきまして特段のご理解とご協力を賜り厚く感謝を申し上げる次第であります。

昨年は、イラク復興へ障害となるテロの続発など国内外でさまざまな出来事が相次ぎ、激動の一年でありました。特に、国内においては過去の観測史上例をみない大型台風の上陸や新潟県中越地震など自然災害が多発し、多くの尊い人命が奪われる痛ましい事故が多発した一年でもありました。

一方、わが国は700兆円を超える借金大国となり、社会保障制度の抜本的見直しや税体系の改革など新たな国民への負担が求められてくるものと想定しなければなりません。

私たちのふるさと登別の将来が明るく住み良いまちとして発展して行くためには、行政・議会・市民が互いに知恵を出し合いながら取り組んで行かなければなりません。

市議会といたしましても、議員が同じ土俵に上がり、分権時代に相応しい議会改革を進めておりますが、さらに市民の皆さまから信頼される議会運営に今後とも全力を尽くして行く決意であります。なお一層のご支援とご協力を節にお願い申し上げます。

結びに、この一年が皆さまにとりまして、最良の年になりますよう心からお祈り申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

登別市長

うえのあきら
上野晃



新年あけましておめでとうございます。

市民の皆さまには、輝かしい希望に満ちた新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

旧年中は、市政の推進にご支援とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年は、長引く景気低迷のもとで地方財政計画が縮小され、厳しい財政状況から地方自治体は大きな痛みを被ることとなりました。

しかし、このような状況にありながらも、登別市は新市民プールをオープンし、登別市葬斎場の供用を開始するなど、行政改革を進めながら、住み良いまちづくりに取り組んでまいりました。

また、住民自治の確立に向け、一昨年、まちの憲法とも言うべき『(仮称)登別市まちづくり基本条例』の検討を市民の皆さまにお願いし、昨年7月に提言をいただきました。

本年は、登別の未来に思いを馳せ、熱い論議をいただいたこの『(仮称)登別市まちづくり基本条例』がいよいよ制定される年であり、観光と他の地場産業を連携させた観光モデルの構築を図る『登別市産業クラスター形成計画』の本格的な取り組みや幼保一元化モデル事業もスタートいたします。

この一年が、登別市にとって真の地方分権に向かう道程への確かな一歩として刻まれる年となるよう、さらなるご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、市民の皆さまにとりまして、明るく幸多い年でありますようご祈念申し上げます。